

令和2年度ホタテガイ採苗情報（第3報）

令和2年5月8日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



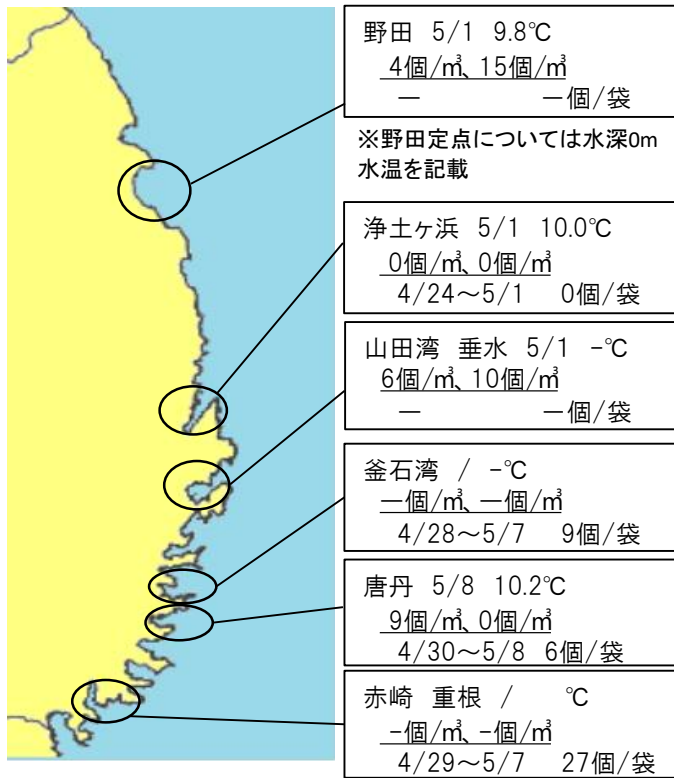
唐丹湾定点におけるホタテガイ付着稚貝はわずか。

< 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は10.2℃で、透明度は8.0mでした。水温は高めに推移しています。
- 唐丹湾では、殻長200μm未満の小型のホタテガイラーバが9個/m³出現し、200μm以上の大型のラーバは見られませんでした。
- 唐丹湾の試験採苗器へは6個体（4/30～5/8）のホタテガイ稚貝が付着していました。
- 唐丹湾、その他の地区におけるホタテガイ付着稚貝数はまだ少ないです。

< 陸奥湾の状況（5月1日発行ホタテガイ採苗速報（第6号）） >

- 西湾ではホタテガイの付着は終盤となっており、東湾ではさらに付着数が増加する見込み。



調査点	調査日	水深10m層水温
		ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)
		試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、5月15日頃に
発行する予定です。

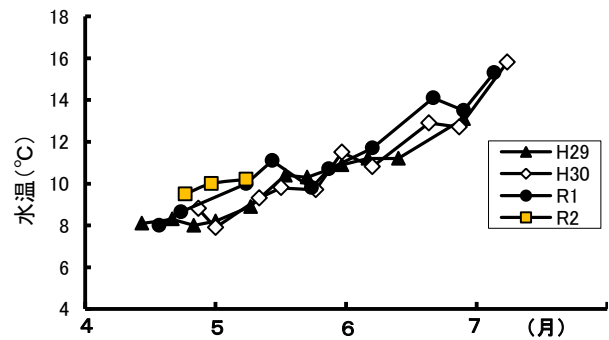


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

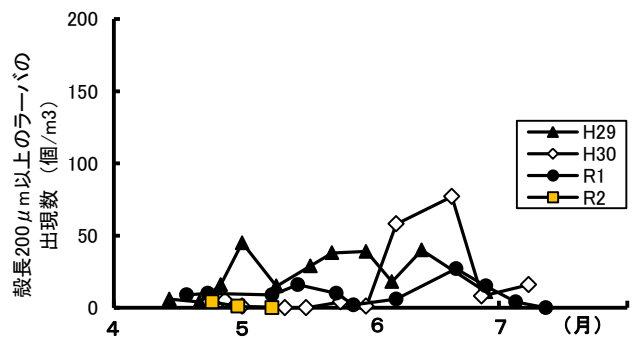


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数

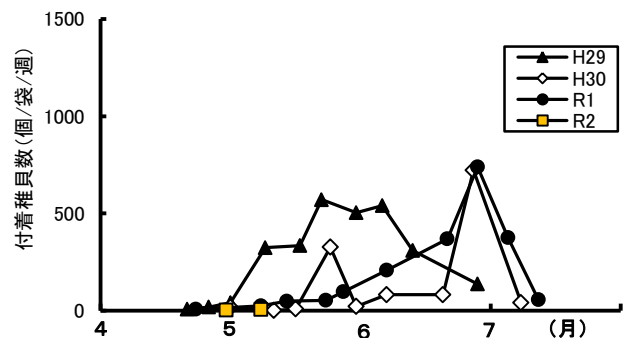


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ付着稚貝数